

第 33 期  
事業報告書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月 31日

出雲空港ターミナルビル株式会社

# 第 33 期 事業報告書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

## I. 営業の概況

当期の航空業界は、前期の震災による需要減少から徐々に全国的に回復がみられるようになりました。

平成 24 年度の当空港の定期路線合計の利用客数は 695,775 (+59,093) 人、前期比 109.3%となりました。

路線別では東京線が機材の大型化と 6 往復化(H24.10.28～H25.2.28)によって 529,985 (+51,533) 人、前期比 110.8%、大阪線が 116,009 (+7,963) 人、前期比 107.4%等と増加いたしました。

併せて貨物実績も出発 974 (+181) トン、前期比 122.7%、到着 278 (+27) トン、前期比 110.7%、出発・到着合計では 1,252 (+207) トン、前期比 119.9% と増加いたしました。

一方、空港活性化の取り組みとしましては、空港絵馬奉納企画、お絵描き展示会をはじめとして、8 月には恒例となりました空港夏祭り(土曜夜市)の神楽上演、縁日屋台の出店などを催し、11 月には神迎祭にあわせのお出迎え企画、3 月は地元のタレントや中学校吹奏楽部、合唱部などを招いての春祭りを開催するなど、年間を通して様々なイベントで多くの来場者をお迎えいたしました。

施設面では、懸案でありました空調設備の熱源更新工事を完了し、12 月より運用を開始しました。また、搭乗待合室内にバリアフリー対応の多目的トイレを新設して利用客の利便性の向上に努めたほか、テナントからの要望の日差し対策として、2F 西側のブラインドや JALUX 売店上面へのロールスクリーンの設置を実施しました。

なお、11 月には全国空港ビル協会の西日本地域連絡会議が 10 年振りに当地に於いて開催(25 社 42 名参加)され、開催地空港としての責を果たすと共に、平成の大遷宮を周知しました。

第 33 期の営業収益のうち、賃貸料収入は 243,410 (+1,051) 千円、前期比 100.4%、広告料収入は 23,828 (+371) 千円、前期比 101.6%と微増でした。雑収入はレンタカー手数料の伸びなどから 29,069 (+2,995) 千円、前期比 111.5%と増加し、総収益は 296,308 (+4,418) 千円、前期比 101.5%となりました。

営業経費は、合計では 175,451 (+2,402) 千円、前期比 101.4%となり、人件費を加えた総経費は 205,367 (+2,231) 千円、前期比 101.1%と微増しました。その結果、営業利益は 90,940 (+2,186) 千円、前期比 102.5%、営業外損益を加減した経常利益は 85,798 (+6,122) 千円、前期比 107.7%となりました。以上により税引き前の当期純利益は 84,657(+4,981) 千円、前期比 106.3%となり、最終の当期純利益は 52,260 (+5,509) 千円、前期比 111.8%となりました。

本年 7 月で出雲空港ターミナルビルは開館 20 周年を迎えます。記念事業を通じて引き続き多くの方々に足を運んでいただけるよう努めると同時に、老朽化に対処した適切な改修、改善を実施し、快適な空の旅を提供できる空間づくりに努めて参ります。また、平成の大遷宮を機に自治体、航空会社等と連携してより一層の利用促進を図る所存であります。

## II. 会社の概要

### 1. 株式の状況

- (1) 発行する株式の総数 120,000 株
- (2) 発行済株式の総数 33,000 株
- (3) 株主数 4 名
- (4) 株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
島 根 県	10,000 株	30.3%
日 本 航 空	10,000 株	30.3%
一 畑 電 気 鉄 道	10,000 株	30.3%
出 雲 市	3,000 株	9.1%
合 計	33,000 株	100.0%

### 2. 従業員の状況

従 業 員 数	8 名
平 均 年 齢	42 歳

### 3. 借入先

(単位：千円)

借 入 先	借 入 残 高
山 陰 合 同 銀 行	173,834
建 設 協 力 金 ( 9 社 )	32,824
合 計	206,658

#### 4. 役員

役員名	氏名	主な職業
代表取締役社長	大谷 厚郎	一畑電気鉄道株式会社 代表取締役社長
専務取締役	春日 稔和	株式会社一畑トラベルサービス 代表取締役社長
取締役管理部長	出水 宏欣	
取締役	小林 淳一	島根県副知事
取締役	黒目 俊策	出雲市副市長
取締役	服部 進	株式会社一畑トラベルサービス 常務取締役
監査役	池田 一	島根県議会議員
監査役	住吉 裕	日本航空株式会社 山陰支店長

## 貸借対照表

平成25年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>流 動 資 産</b>	<b>61,319,253</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>146,490,517</b>
現 金	203,477	短 期 借 入 金	82,022,000
預 金	40,506,792	未 払 金	17,936,876
未 収 入 金	17,165,506	未 払 法 人 税 等	17,115,000
貯 蔵 品	204,750	未 払 消 費 税 等	0
前 払 費 用	1,307,539	未 払 費 用	1,050,006
繰 延 税 金 資 産	1,931,189	預 り 金	5,009,889
		前 受 金	21,842,416
		賞 与 引 当 金	1,514,330
<b>固 定 資 産</b>	<b>981,692,717</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>128,562,900</b>
有 形 固 定 資 産	979,505,139	長 期 借 入 金	124,636,000
建 物	819,358,428	退 職 給 付 引 当 金	3,926,900
建 物 附 属 設 備	147,666,049		
構 築 物	6,680,897		
機 械 装 置	2,883,821	<b>負 債 合 計</b>	<b>275,053,417</b>
器 具 ・ 備 品	2,915,944	<b>純 資 産 の 部</b>	
無 形 固 定 資 産	199,088	<b>株 主 資 本</b>	<b>767,958,553</b>
電 話 加 入 権	199,084	資 本 金	330,000,000
水 道 施 設 利 用 権	4	利 益 剰 余 金	437,958,553
投 資 そ の 他 の 資 産	1,988,490	別 途 積 立 金	100,000,000
出 資 金	200	繰 越 利 益 剰 余 金	337,958,553
繰 延 税 金 資 産	1,988,290	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>767,958,553</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,043,011,970</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>1,043,011,970</b>

## 損益計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目		金 額	
経常損益の部	営業損益の部	円	円
		営業収益	296,308,507
		賃貸料収入	243,410,256
		広告料収入	23,828,405
		雑収入	29,069,846
		営業費用	205,367,828
		人件費	29,916,238
		経費	175,451,590
		営業利益	90,940,679
	営業外損益の部	営業外収益	39,432
		受取利息	413
		雑収入	39,019
		営業外費用	5,181,533
		支払利息	5,181,533
	経常利益		85,798,578
特別損益の部	特別利益	0	
	特別損失	1,140,903	
	固定資産除却損	1,140,903	
	税引前当期純利益	84,657,675	
法人税・住民税及び事業税		32,875,780	
法人等税等調整額		△ 478,902	
当期純利益		52,260,797	

## 株主資本等変動計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日

	株 主 資 本					純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金			株主資本合計	
		任意積立金等	その他 利益剰余金	利益剰余金		
		別途積立金	繰越利益 剰余金	合 計		
期首残高	330,000,000	100,000,000	285,697,756	385,697,756	715,697,756	715,697,756
当期変動額						
剰余金の配当						
別途積立金の積立						
別途積立金の取崩						
当期純利益			52,260,797	52,260,797	52,260,797	52,260,797
当期変動額合計	0	0	52,260,797	52,260,797	52,260,797	52,260,797
当期末残高	330,000,000	100,000,000	337,958,553	437,958,553	767,958,553	767,958,553

# 個別注記表

## I. 重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品 先入先出法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 建物、建物附属設備は定額法、構築物、機械装置及び器具・備品は定率法によっている。  
無形固定資産 定額法によっている。
3. 引当金の計上基準  
賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上している。  
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
4. リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
5. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

## II. 貸借対照表関係

1. 有形固定資産の減価償却累計額 1, 825, 612, 179円
2. リースにより使用する固定資産 貸借対照表に計上した固定資産のほか、車両等についてはリース契約により使用している。
3. 担保に供している資産 979, 505, 139円

## III. 損益計算書関係

1. 1株当り当期純利益 1, 583円 66銭  
(当期純利益 52,260,797円 ÷ 33,000株)

## IV. 退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要  
当社は、確定給付型の制度として、退職一時制度を設けている。
2. 退職給付債務に関する事項  
退職給付債務 3, 926, 900円  
(注) 退職給付債務の算定にあたっては、簡便法を採用している。
3. 退職給付費用に関する事項  
勤務費用 1, 486, 500円



## V. 税効果関係

### 1. 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳

#### 流動資産

##### 繰延税金資産

未払事業税	1,359,529円
賞与引当金	571,660円
	<hr/>
	1,931,189円

#### 固定資産

##### 繰延税金資産

退職給付引当金	1,389,337円
ゴルフ会員権	424,560円
一括償却資産	174,393円
	<hr/>
	1,988,290円

### 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の差異の原因

当期法定実効税率	37.75%
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.13%
住民税均等割	0.39%
	<hr/>
税効果会計適用後の法人税等の負担率	38.27%

平成25年5月27日

## 監 査 役 監 査 報 告

出雲空港ターミナルビル株式会社

監査役 池 田 一 ⑩

監査役 住 吉 裕 ⑩

第33期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次の通り報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

監査役間の協議により、監査方法、監査基準及び監査計画を定めた上で、必要な調査を行い、監査を実施しました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めるとともに、実地調査を行いました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若くは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当社の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての、取締役会の決議の内容は相当です。
- (4) 当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針の内容等については、指摘すべき事項はありません。
- (5) 計算書類とその附属明細書は、当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以 上